

## 事業提案書要約

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア
2. 事業名	カンボジアにおける農産物・加工品の安全性向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>カンボジアの農業セクターは、GDPの33.6%（2013年）、総就業人口の約7割を占めていることから、重要なセクターの一つであるが、平均耕作面積は1ヘクタールと小規模農家が多く、農村人口の約40%が貧困状態にあるといわれている。</p> <p>このため、カンボジア政府は貧困削減と経済成長の実現を開発目標に、国家経済開発戦略「第三次四辺形戦略」を策定し、経済成長のために農業セクターの強化を掲げている。この政策の下、作付面積の約80%を占める稲作によりすでにコメの自給率は達成し、年間約300万トンの余剰米を生産するに至っている。しかし、小規模農家が多いことから貧困削減や生活の向上のためには、コメを含む農産物の高品質化や加工による高付加価値化による収益増が必要である。一方で、消費者サイドからは、より安全な農産物、農産加工品が求める声が強まっており、「農産物・加工品の安全性確保」が喫緊の課題とされている。</p> <p>本プロジェクト実施団体は先行プロジェクトにおいて、農産物加工の伝統的技術を復活させ、コメを原料とした地域ブランド商品を開発するなど初期の目標を達成したが、既述の通り安全な農産物、農産加工品が求める声が強まっている中で、安定して流通させていくためには消費者に対する食の安全性の周知とともに生産者に対する安全な生産方法の徹底が急務であると認識するに至った。</p> <p>このため、安全な農産物・加工品の生産方法を農村部に定着させ、消費者に安全性を周知するとともに、同国唯一の農業大学であり農林水産省職員を送りだしているカンボジア王立農業大学（Royal University of Agriculture、以下「RUA」という。）にノウハウや成果を蓄積するために、RUAをカウンターパートとして本プロジェクトを実施することとした。</p>
4. プロジェクト目標	プロジェクト対象地域において、安全性を重視した農産物・加工品が継続的に製造・販売される
5. 対象地域	成果1. タケオ州、成果2. プノンペン特別市、タケオ州、プレイベン州、スパイリエン州、プルサット州、シェムリアップ州、成果3. コンボンズプー州、タケオ州、成果4. プノンペン特別市
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	<p>成果1. タケオ州2郡の12コミュニティの酒造農家約353世帯</p> <p>成果2. プノンペン市内の酒類販売店100軒、酒類消費者2,000人、主要な米蒸留酒生産地5州の酒類販売店及び酒造農家100世帯、米蒸留酒の消費者1,000世帯</p> <p>成果3. コンボンズプー州、タケオ州の野菜栽培農家200世帯</p> <p>成果4. プノンペン市内のスーパーマーケット利用者（人数特定不可）とRUAの学生（2,500～5,000人）</p>
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>安全な米蒸留酒の製造方法を身につけた中核農家が育成される</li> <li>米蒸留酒の主要生産地においてメタノールの添加による危険性が周知される</li> <li>日本の安全基準で栽培された野菜が都市の市場において高価格販売される</li> <li>RUAに、安全な農産物・加工品の製造と販売に関する知と技が蓄積される</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Training of trainers(TOT)によって中核農家を育成する</li> <li>メタノール混入飲料の流通状況を把握し、安全講習を実施する</li> <li>日本の安全基準に沿った野菜栽培に向けた技術指導を行う</li> <li>RUAに上記の知と技を蓄積する</li> </ol>
8. 実施期間	2014年9月～2019年8月（5年0ヵ月）
9. 事業費概算額	99,918千円
10. 事業の実施体制	カンボジア王立農業大学を主なカウンターパートとして、タケオ州農業局、郡長、地区長、村長と連携を図りながら名古屋大学プロジェクトチームが事業を実施する。また、農林水産省の関係部局、産業省等の関係機関と密な関係を築いて実施する。

Ⅱ. 応募団体の概要	
1. 団体名	名古屋大学
2. 活動内容	人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践するとともに人材育成を通じて社会的貢献を図る。